

## 1 敦賀開業3年前倒し決定。平成34年度末の開業に向け工事が本格化 敦賀以西ルートの本格的な議論を期待

1月14日、政府・与党の申し合わせで、金沢～敦賀間の3年前倒しが正式に決定し、平成34年度末の敦賀開業に向けた工事が本格化します。また、この申し合わせにおいて、未着工区間の取り扱いについては、今後、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームで検討を行うこととされました。

工期短縮問題が決着した今、敦賀以西ルートの議論が本格化するよう強く求めていかなければならないと考えています。



## 2 若狭ルート早期実現 知事要望実施 市と議会、商工会議所 一丸で

2月13日、地元県議会議員同席のもと、市と議会および小浜商工会議所の3者による知事要望を行い、若狭ルートの早期実現に向け強力な取組みを要望しました。

知事とは、若狭ルートの意義や京都、大阪付近の交通アクセス等について、意見交換を行いました。

今後とも、皆さまのご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



# (参考) 要望書

北陸新幹線は、日本海国土軸を形成し、東京・大阪間の多重化による国土強靱化とともに、人口減少時代における沿線地域の復興・発展を図るため、最優先に整備されるべき国家プロジェクトです。

とりわけ昭和48年に決定された整備計画に位置付けられている若狭ルートは、北陸地域をはじめ沿線地域と関西圏との時間距離を大幅に短縮し、本県全体の発展に資する極めて重要な交通手段であり、ビジネスや観光で新たな展開が可能になるなど、滋養の未来を拓くものとして、その実現が地域住民の長年の悲願となっています。

この度、政府・与党の中間令において金沢・敦賀間に関し、福井県が提案した3年前倒しによる開業を目指すことが決定しましたが、このことは、本県の発展にとって大変大きな成果であり、これに至るまでの県のご尽力に敬意を表するところです。

つきましては、敦賀までの完成・開業の3年前倒しが決まった今、日本経済を元気にするとともに、国土強靱化を加速させるため、若狭ルートの整備促進に関する議論を深め、これを早急実現することが必要です。

このことから下記の項目を強く要望するものであります。

## 記

- 1 北陸新幹線若狭ルート早期実現について、次のとおり国に強く求めること
  - (1) 敦賀以西について、昭和48年に決定された整備計画どおり、若狭ルートの実現に必要な調査を速やかに進め、早期に決定すること。
  - (2) 大阪までの全線フル規格による開業年度を明らかにし、早期整備を実現すること。
- 2 北陸新幹線若狭ルートの早期実現を図るため、県において次のとおり調査等を行うこと。
  - (1) 県長機運の醸成や関係機関等への働きかけに必要な整備効果・経済波及効果等の調査を行うこと。
  - (2) 若狭ルート沿線自治体である京都府や大阪府に対し、引き続き整備促進に理解を得られるよう働きかけること。

小 浜 市 長

松 崎 晃 治

小 浜 市 議 会 議 長

垣 本 正 直

小 浜 商 工 会 議 所 会 頭

上 野 浩 治

